



報道関係者各位

2002年9月19日
株式会社ネットマークス

ネットマークス、大日本印刷と販売契約を締結し XML データの内容保証・保護を実現するソフトウェア「SecureStarXML」を発売

ネットワーク・ソリューションプロバイダの株式会社ネットマークス(東京都港区元赤坂1-3-12 代表取締役社長：長尾多一郎)は、XML データの内容保証・保護を実現するソフトウェア「SecureStarXML」の販売を2002年10月から開始すると発表しました。

今回販売を開始する「SecureStarXML」は、大日本印刷株式会社(東京都新宿区 代表取締役社長：北島義俊)が開発したソフトウェア製品です。本製品は XML 署名の標準規格である XML シグネチャに準拠しており、XML データに対する電子署名の付与や検証を実現します。また、添付書類に対する署名を実現する電子封筒機能により、各種電子フォームにより作成される XML データ以外に、PDF ファイルや表計算データなどの様々なデジタルデータに対して、電子署名の付与、電子署名の検証の機能を組み込むことが可能で、電子商取引や電子政府への電子申請の際に、安全なデジタルデータの送受信ができます。

ネットマークスでは、電子申請分野を中心にシステム設計・開発を行なうシステムインテグレーション企業を主なユーザー層として「SecureStarXML」の拡販を進め、2003年度2億円、2004年度5億円、の販売を予定しています。製品価格は、100 ユーザライセンス 50 万円から。

XML は、ビジネス文書管理、メッセージング、データベースなどとの親和性が高く、電子商取引や電子政府への電子申請様式に必須の技術であり、今後急速に市場の拡大すると予想されています。一方、機密情報の流出やデジタルデータの改ざんなどの危険性も存在し、ビジネスデータの交換に使用される XML データに対するデジタル署名や XML 暗号についての要求は、高いものがありました。「SecureStarXML」は、XML データへの署名/検証/電子封筒の機能を提供することができます。ビジネス分野においては、受発注書の特定フィールドへの署名やオンラインショッピングなどでクレジット番号の入力部分のみを暗号化するという利用が可能になります。また、XML シグネチャに準拠した製品として BtoB、BtoC の用途や電子政府への適用も見込まれます。

本製品は、大日本印刷株式会社が近年取り組んでいる電子フォームソリューションの成果の一つです。紙の帳票でなされた業務処理プロセスを電子化する上で必須要件である、ネットワーク上のデジタルデータ流通に関するセキュリティ技術やノウハウを基に機能開発したものです。

ネットマークスはこれまで行ってきた認証局構築ビジネスを通じ、PKI の普及には PKI を活用したアプリケーションがさまざまな分野で低コストに開発できることが重要

であると考えてきました。今後は本製品をベースにPKIアプリケーションの開発もサポートしていきたいと考えております。

ネットマークスと大日本印刷はともに、申請者の立場に立った理想的な電子申請の実現を目指す任意団体「電子申請推進コンソーシアム」のメンバー企業であり、コンソーシアムでの活動を通して関係を深め、本製品の販売提携に至りました。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせは下記までお願い致します>

株式会社ネットマークス 広報宣伝室 三谷一志

Tel : 03 - 3423 - 5782 Mail : mitani@netmarks.co.jp

< 「SecureStarXML」製品特長 >

開発元：大日本印刷株式会社

販売元：株式会社ネットマークス

発売時期：2002年10月（デベロッパー向けベータリリース）

[用途]

電子商取引をXMLデータ交換で行なう際の署名

研究機関など文献に対する改ざん防止目的電子署名

電子申請

- ・電子申請に施す電子署名
- ・証明書の有効性確認機能（GPKI対応）予定

[機能]

(1) XML 電子署名付与・検証機能

- ・W3C XMLSignature 準拠
- ・一つのデジタルデータに対して複数の署名を付与することが可能。部分署名と併用することで、様々な署名方法を実現できる。
- ・デジタルデータの任意の部分に署名を付与可能。データ加工（署名対象部分を除く）後の署名検証も可能
- ・証明書連鎖の自動検出、ルート証明書までの証明書検証が可能
- ・Microsoft CryptAPI に対応したスマートカードデバイスの利用が可能

(2) XML 暗号化・復号化機能（Java版のみ）

- ・3DES に対応した高度な暗号化機能
- ・XML 文書中の任意の部分を暗号化することが可能

(3) XML 電子封筒機能

- ・XML ファイル、PDF ファイル、Microsoft Word 等で作成された様々な形式のファイルを一つの XML 電子封筒にパッケージングすることが可能。電子署名の付与・検証機能を併用することで添付ファイル（形式は問わず）への署名付与が可能。

[動作環境]

Windows: 98, NT4, 2000, XP 、 JAVA: 1.2, 1.3 （予定）

OS のバージョンにより一部動作しない機能があります。

[対象]

電子政府構想に伴う各中央省庁・自治体の汎用電子申請システムにおける申請者 - 行政間の申請データ授受、及び申請データを受理した行政機関内における内部申請業務でのセキュリティ確保。その他、民間企業内部の申請・決裁業務にも適用可能。

[対応アプリケーション]

本製品はミドルウェアであり、クライアント/サーバ上の任意のアプリケーションから本製品の機能を必要に応じて呼び出す形になる。

対応アプリケーションとして現段階で用意に導入可能なものは、

Adobe Accelio Capture FormFlow、Adobe Accelio Capture Reachform

であり、それぞれ SecureStar 対応コネクタをオプションとして提供。

他のアプリケーションコネクタに関しても提供検討中

* 記載されている会社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。

* 上記価格、出荷（サービス）開始時期については予告なく変更する場合があります。

株式会社ネットマークス 会社概要

社 名 株式会社ネットマークス
所 在 地 〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 - 3 - 1 2
TEL / 03-3423-3291 (代表)
[URL] <http://www.netmarks.co.jp/>
設 立 1 9 9 7 年 3 月 1 8 日
資 本 金 1 1 . 5 6 億 円
出 資 会 社 住友電気工業株式会社、日本ベンチャーキャピタル株式会社
株式会社野村総合研究所、住友電設株式会社、
株式会社インターネットイニシアティブ、ティアイエス株式会社
代 表 者 代表取締役社長：長尾 多一郎（ながお たいちろう）
従 業 員 数 5 1 0 名（ 2 0 0 2 年 4 月 現 在 ）

<株式会社ネットマークス 事業概要>

ネットマークスは、メーカーにとらわれることなく時代に即したネットワーク構築というニーズの高まりを背景に、マルチベンダ環境でのネットワークシステムインテグレータとして 1997 年に設立されました。『We are here on customers' side.』をスローガンに掲げ、お客様の立場で考えた最適なソリューションと誠実できめの細かいサービスを提供することを目指しております。最新技術にも柔軟に対応するネットワークシステムの構築をベースに、重要な情報を確実に守るセキュリティシステム、データを安全に保管し最大限に有効活用するためのストレージネットワークシステム、また構築したシステムの運用・監視を行なうアウトソーシングサービスの4つのソリューションを基幹ビジネスと位置付け、これらを融合させ、設計、構築、運用・監視、保守にいたるまでトータルにお客様をサポートしております。